

跡見学園創立 150 周年記念 企画展

跡見花蹊と跡見女学校

—紡がれる歴史と伝統—

掛け軸、屏風から制服まで—
跡見女学校が隆盛期を迎えた大正期以降の
学園の記録を公開！

跡見花蹊《秋草図屏風》

跡見学園女子大学花蹊記念資料館

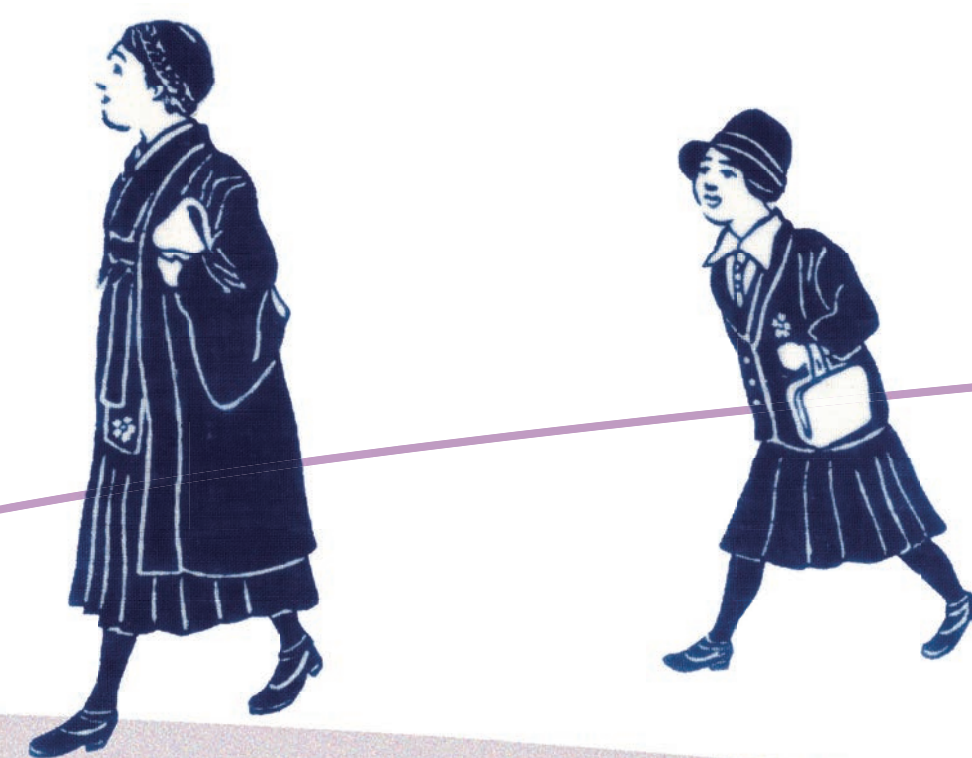
新座キャンパス 2 号館 1 階

〔開館時間〕 10 時～16 時 〔入館料〕 無料

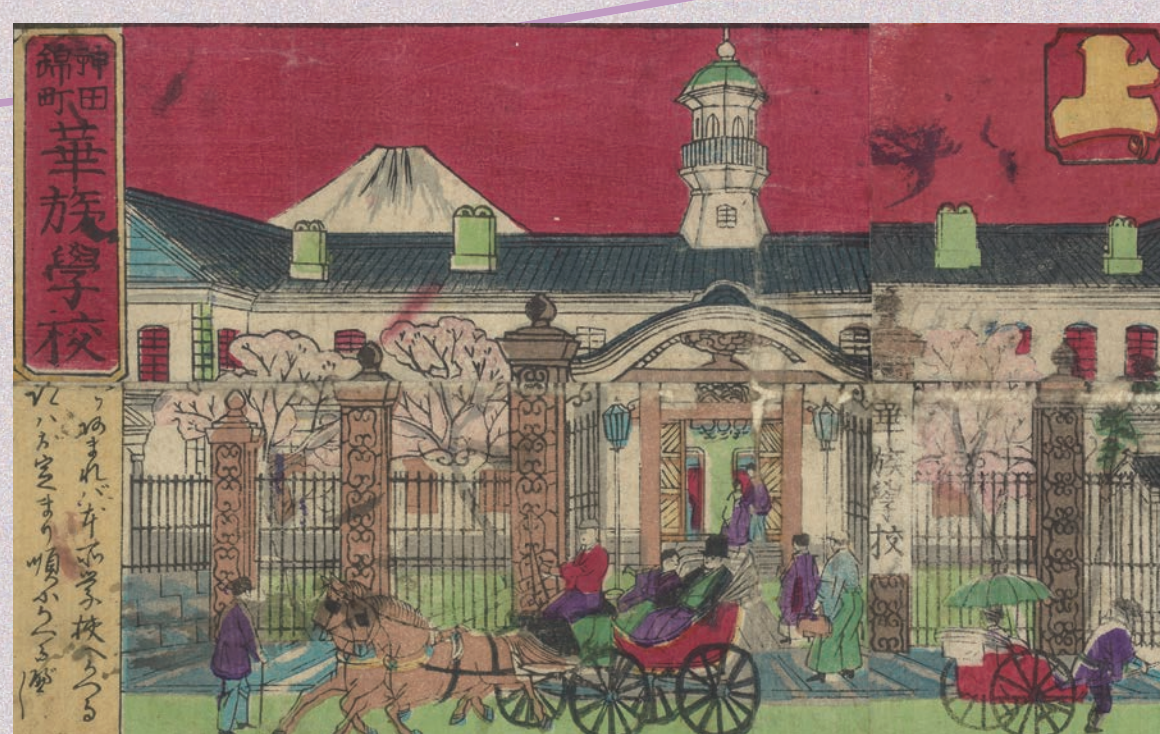
〔休館日〕 土曜日、日曜日、10/14(火)、11/4(火)、11/27(木)

※10/25(土)、10/26(日)、11/15(土)は開館

2025 9.26^金 → 12.5^金



アサヒグラフ 昭和 27 年



安藤徳兵衛《生徒勉強東京小学校教授雙録》より 華族学校



同左 跡見学校



小石川柳町邸新築記念 花蹊 77 歳、李子 49 歳



大正期の寄宿舎外観の一部



大正 2 年 新築の小石川柳町校舎正面



明治 40 年頃 一部増築された小石川柳町校舎

跡見学園創立百五十周年記念

跡見花蹊と跡見女学校

紡がれる歴史と伝統

跡見学園の創立者・跡見花蹊^{あとみ かけい}[1840-1926]が掲げた志は、時代を超えて受け継がれ、本年、跡見学園は創立150周年を迎えました。本展は、今年3月より開催された「跡見花蹊と跡見女学校―開学へのあゆみ―」に続く、後期の展覧会です。花蹊円熟期の代表作《秋草図屏風》のほか、掛け軸や、学校が記念に発行した絵葉書、勲章、制服など、様々な資料を通して、跡見学園に息づく歴史と伝統をご紹介します。

また、本展では、跡見花蹊が22歳にあたる文久元(1861)年から逝去前年の大正14(1925)年まで、ほぼ一貫して綴った膨大な日記『跡見花蹊日記』を初公開いたします。

花蹊の理念は、幼少よりその教えを受け、のちに養子として跡見女学校の二代目校長を務めた跡見李子^{ももこ}[1868-1956]に受け継がれました。李子はのちに跡見学園の初代理事長・跡見学園短期大学初代校長にも就任し、生涯を通じて跡見学園の発展に寄与し続けました。また、花蹊の従妹である跡見玉枝^{ぎよくし}[1858-1943]もまた、花蹊に学び、画家として活躍しました。本展においても、その作品をご覧ください。

戦争や震災といった困難を乗り越えながら、跡見学園は中学校、高等学校、短期大学、女子大学とかたちを変えながら発展を遂げ、今日に至ります。

本展を通じて、跡見花蹊をはじめとする先人たちの歩みと精神に触れていただければ幸いです。

関連イベント

ギャラリートーク

(担当学芸員による20分程度の展示解説)

- 10月25日(土) 13:00～
- 11月28日(金) 15:10～

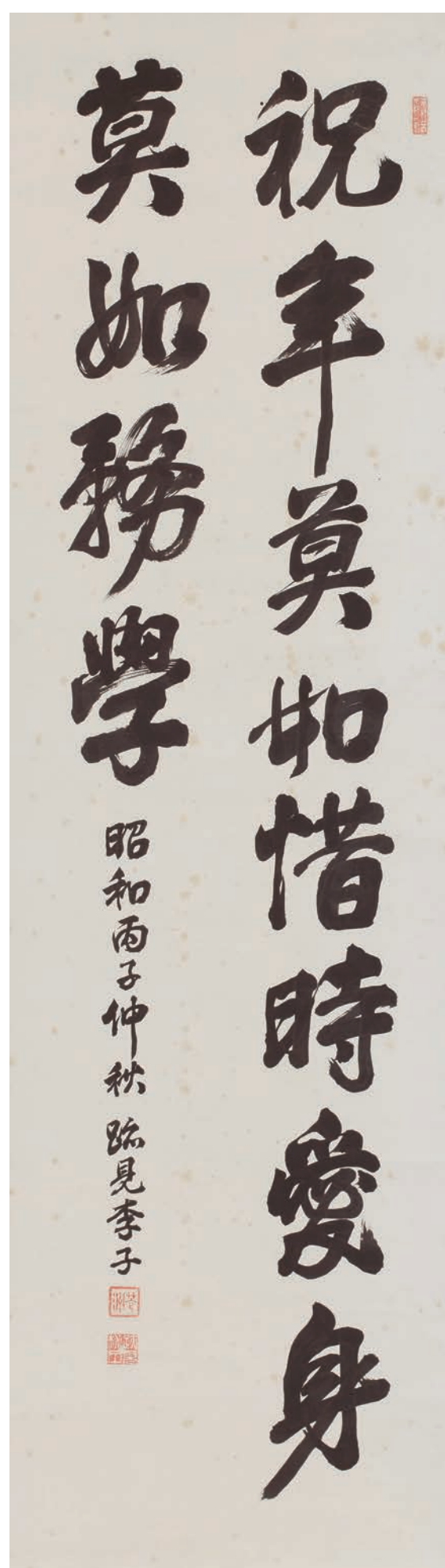
交通案内

公共交通機関および本学の大学バスをご利用ください。自動車での来館はお断り致します。

- JR 武蔵野線「新座」駅北口より大学バス
 - 東武東上線「みずほ台」駅西口より大学バス
- 【大学バス時刻表】
<https://www.atomi.ac.jp/univ/about/campus/bus/>
※ご乗車時に「花蹊記念資料館の観覧に来た」旨を乗務員へお伝えください。
- 東武東上線「志木」駅南口より西武バス【志 32】跡見女子大行もしくは【所 52】所沢駅東口行。



跡見花蹊《松に鶴之図》大正4年



跡見李子《行書六言二句「祝年莫如惜時」》昭和8年



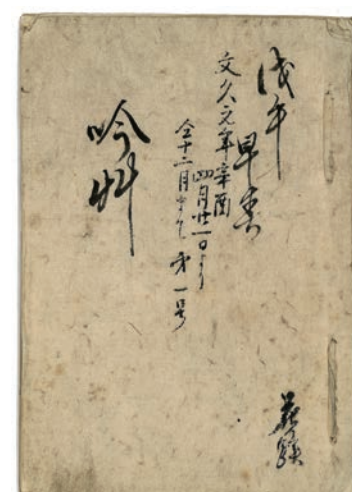
跡見玉枝他 合作《瓢箪図》



跡見花蹊《錦「寿」》大正4年



跡見李子所持 登録証明書



跡見花蹊日記 第1号



勲五等瑞宝章
大正14年



ご来場の皆様へ

※キャンパスへの入構時には、大学正門の門衛所に花蹊記念資料館へ入館の旨をお伝えください。

本展の最新情報は、当館ウェブサイトや公式SNSよりご確認ください。

- 公式ウェブサイト <https://www.atomi.ac.jp/univ/museum/>
- 公式X @Atomiuniv_Muse
- 公式Instagram @atomiuniv_muse



HP



X



Instagram



跡見学園女子大学
花蹊記念資料館

THE KAKEI MEMORIAL MUSEUM OF ATOMI UNIVERSITY



JAPAN MUSEUM

指定施設

〒352-8501 埼玉県新座市中野 1- 9 - 6
TEL : 048-478-0130 (花蹊記念資料館)